

IJCAD マイ그레이ションツール

マニュアル



IntelliJapan

目次

1. 移行する前に

- 1-1. 動作環境----- 1
- 1-2. 使用上の注意点----- 2
- 1-3. 環境移行のための準備----- 3

2. 環境移行作業について

- 2-1. 旧バージョンから新バージョンへの移行方法----- 5
- 2-2. 同一バージョン間の移行方法----- 8

3. Q&A

- 3-1. ログファイルについて----- 10

1. 移行する前に

IJCAD の環境設定を移行する前に以下の内容を必ずご確認ください。

1-1. 動作環境

本製品をご使用いただくためには、以下の動作環境が必要です。

なお、予告せず変更されることがあります。

最新の対応 OS の情報は、Web ページ(<https://www.ijcad.jp/>)にてご確認ください。

CPU	Core i7 以上を推奨
RAM	最低動作環境 8 GB 推奨動作環境 16 GB 以上 ※ 図面データの容量によってはより高い RAM 環境が必要になる場合があります。
HDD(SSD)	PF : 1.82GB
対応 OS	Windows 11 バージョン 24H2
ディスプレイ カード	推奨動作環境 2GB GPU (Intel(R) HD Graphics 4000 などのオンボードグラフィックでの動作実績もあり)
その他	.NET Framework 4.8 (※)
	[VBA を使用するユーザーのみ] Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ (※)

※ .NET Framework 4.8 について

お使いの PC に「.NET Framework 4.8」がインストールされていない場合、

下記 IJCAD 環境設定用モジュールダウンロードページよりダウンロードしてください。

(<https://service.ijcad.jp/product/download/tool>)

※ Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージについて

お使いのパソコンに「Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable」がインストールされていない場合は、ご自身で Microsoft の WEB サイトよりインストールしてください。

1-2. 使用上の注意点

- 本製品が使用できるのは
PRO 版から PRO 版へといった**同グレード間**での移行、
64Bit 版から 64Bit 版へといった**同じ Bit 数の環境への移行**のみです。

例) ○…IJCAD 2025 STD 64Bit → IJCAD 2026 STD 64Bit への移行
IJCAD 2023 LT 32Bit → IJCAD 2023 LT 32Bit への移行

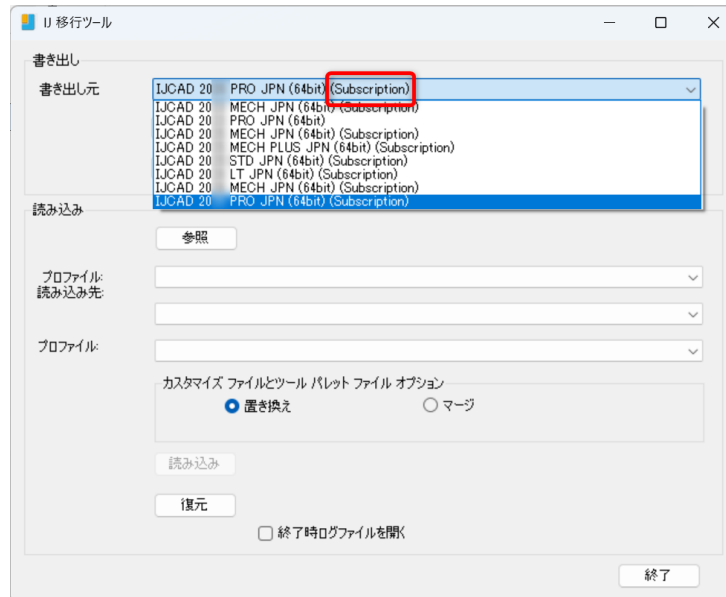
×…IJCAD 2025 **STD** 64Bit → IJCAD 2026 **PRO** 64Bit への移行
IJCAD 2023 LT **32Bit** → IJCAD 2023 LT **64Bit** への移行
- また、上記の条件を満たした上で、旧ライセンス方式(端末認証の IJCAD)から新ライセンス方式(アカウント認証の IJCAD)への移行を行う事も可能です。

例) ○…IJCAD 2024 LT 64Bit (スタンドアロン)
→IJCAD 2026 LT 64Bit(シングル)への移行
○…IJCAD 2025 STD 64Bit(シングル)
→ IJCAD 2026 STD 64Bit(シングル)への移行
○…IJCAD 2023 PRO 64Bit (シングル)
→IJCAD 2024 PRO 64Bit(スタンドアロン)への移行

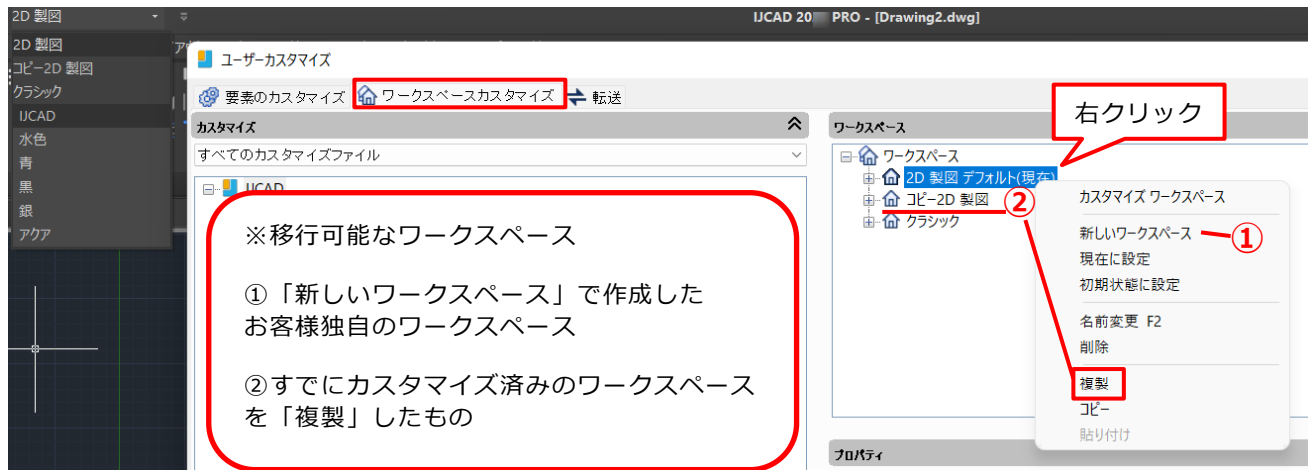
※新ライセンス形態に対応したマイグレーションツールは、
2024 以降のバージョンのみとなります。
- 本製品は、インストールユーザーと異なるユーザーでは使用できません。

1-3. 環境移行のための準備

- 新ライセンス形態の場合、[書き出し]や[読み込み]時には末尾に[Subscription]と表示されます。



- 現在 IJCAD のデフォルトのワークスペース「2D 製図」「クラシック」が移行できません。
お客様独自で作成されたワークスペース、またはデフォルトのワークスペースを複製したもののみ、移行することができます。



2. 環境移行作業について

環境の移行元と移行先の製品バージョンにより、操作手順が異なります。

- ・ IJCAD の旧バージョンから新バージョンへの移行
(例：2025→2026)
- ・ IJCAD の同一バージョン間の移行
(例：パソコン A の 2026→パソコン B の 2026)

それぞれ、下記の手順を参照してください。

- **旧バージョンから新バージョンへ移行する**
 - ・・・『[2-1. 旧バージョンから新バージョンへの移行方法](#)』
- **同一バージョン間で移行する**
 - ・・・『[2-2. 同一バージョン間の移行方法](#)』

2-1. 旧バージョンから新バージョンへの移行方法

① マイグレーションツールを起動

IJCAD のスタートアップメニューから
「Migration Tool (マイグレーションツール)」を起動してください。

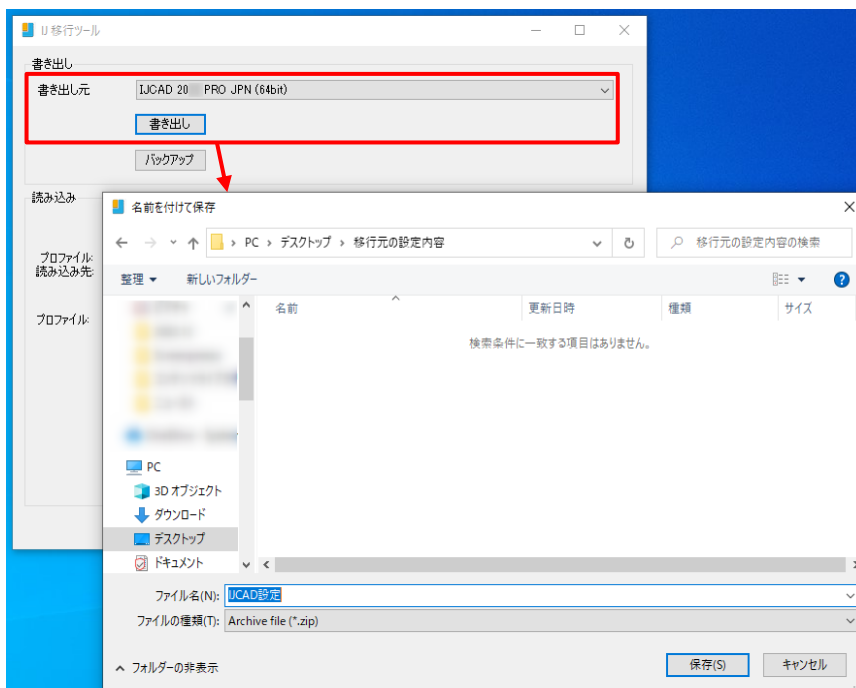
※IJCAD のスタートアップメニューに表示されない場合は、以下のパスを開き
「IJMigrationTool.exe」を実行してください。

C:¥Users¥<ユーザー名>
¥AppData¥Roaming¥IntelliJapan¥MigrationTool¥x64¥ja-JP

② 移行元の IJCAD を選択

環境を移行したい IJCAD (今まで使用していた IJCAD) を
「書き出し元」の一覧から選択して、「書き出し」ボタンを押してください。

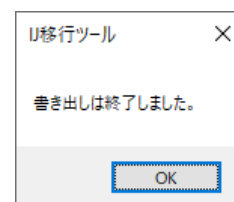
「名前を付けて保存」ダイアログが開きますので
わかりやすい場所に、わかりやすいファイル名で保存してください。



③ ファイルの保存先を確認

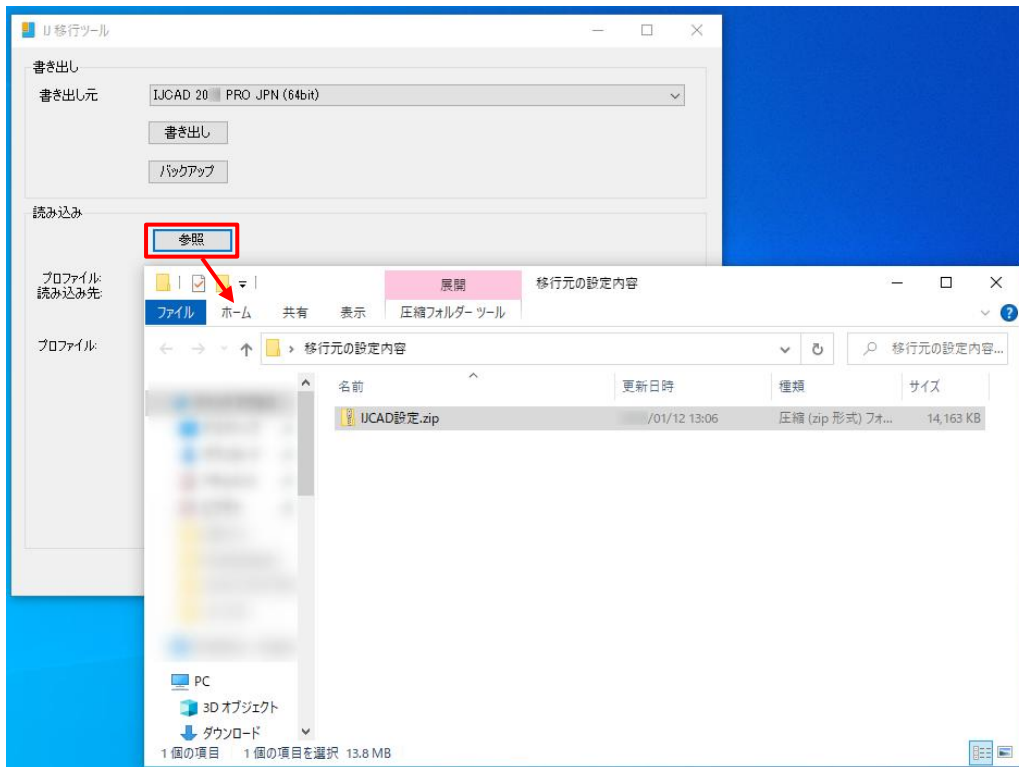
書き出しが完了すると
右のようなメッセージが表示されます。

指定した保存先に ZIP 形式のファイルが
作成されていることを確認してください。



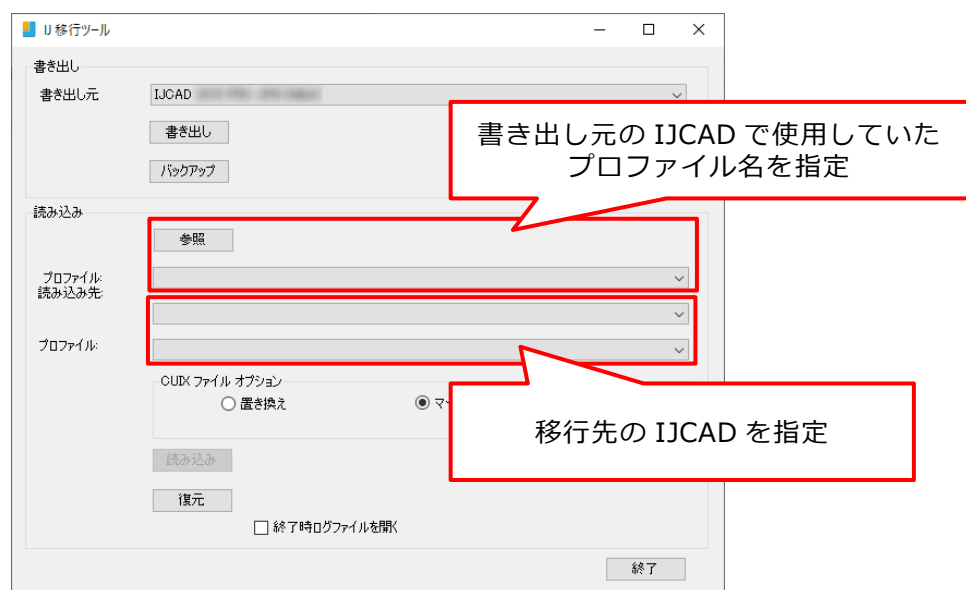
④ 書き出したファイルを選択

手順②③で書き出した ZIP 形式のファイルを「読み込み」の「参照」ボタンから選択してください。



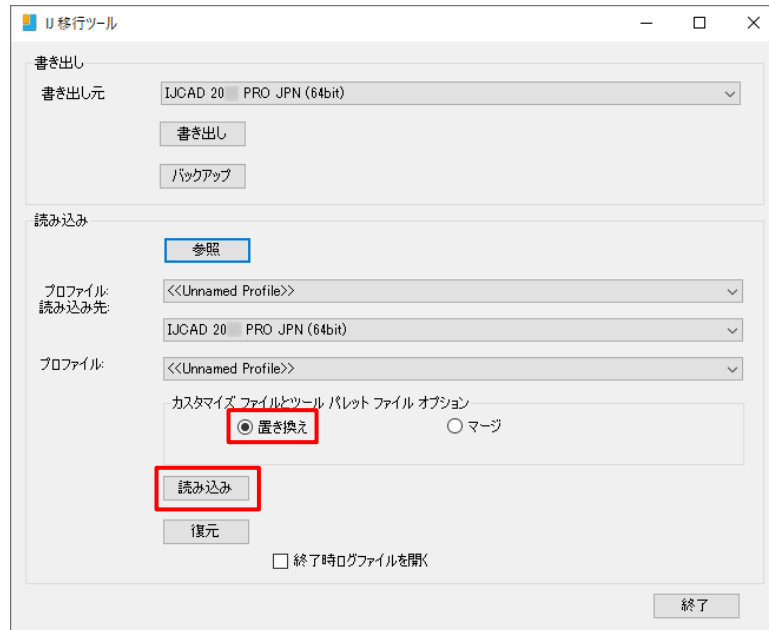
⑤ 移行するプロファイルと移行先を選択

書き出し元の IJCAD で使用していたプロファイル名を選択し、「読み込み先」として移行先の IJCAD を指定してください。



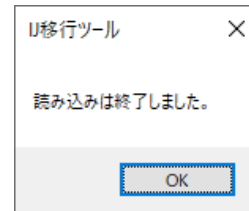
⑥ CUIX ファイルオプションの選択と読み込み

CUIX ファイル オプションで「置き換え」を指定し「読み込み」ボタンを押してください。



⑦ 読み込み完了

右のようなメッセージが表示されたら適用完了です。



2-2. 同一バージョン間の移行方法

① マイグレーションツールを起動

移行元の IJCAD がインストールされたパソコンのスタートアップメニューから「Migration Tool (マイグレーションツール)」を起動してください。

※IJCAD のスタートアップメニューに表示されない場合は、以下のパスを開き「IJMigrationTool.exe」を実行してください。

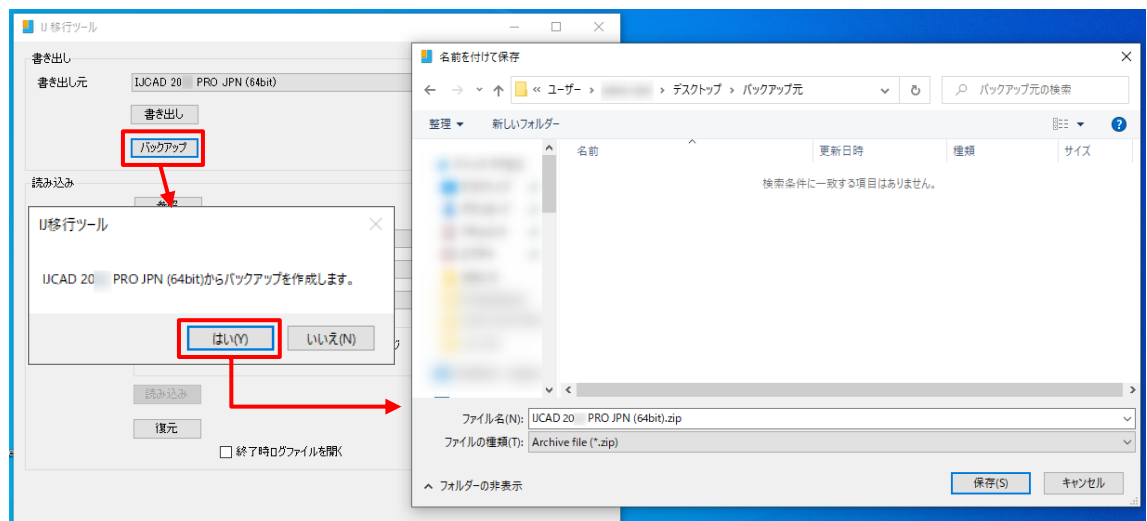
C:¥Users¥<ユーザー名>

¥AppData¥Roaming¥IntelliJapan¥MigrationTool¥x64¥ja-JP

② 移行元の IJCAD を選択

環境を移行したい IJCAD (環境設定済みの IJCAD) を「書き出し元」の一覧から選択して、「バックアップ」ボタンを押してください。

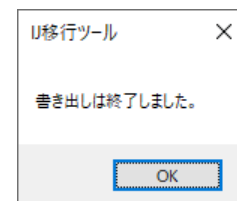
「名前を付けて保存」ダイアログが開きますので、わかりやすい場所に、わかりやすいファイル名で保存してください。



③ ファイルの保存先を確認

バックアップが完了すると右のようなメッセージが表示されます。

指定した保存先に ZIP 形式のファイルが作成されていることを確認して、移行先のパソコンへ ZIP ファイルを移動してください。



④ マイグレーションツールを起動

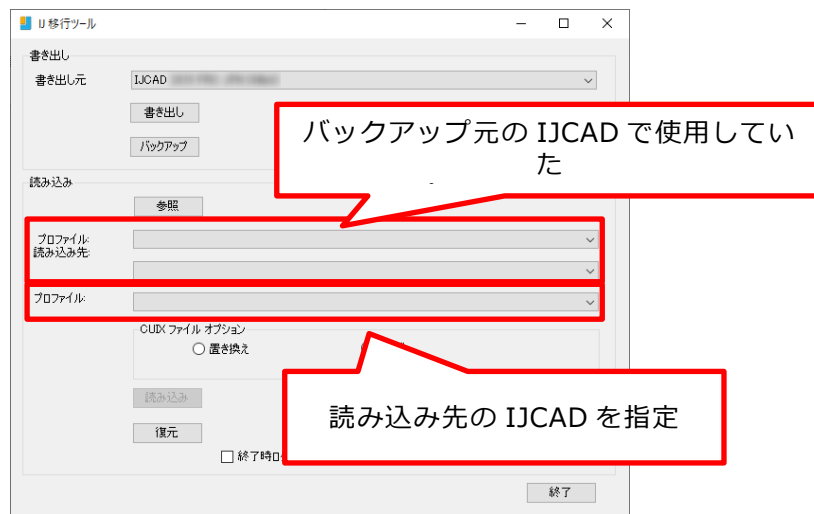
移行先の IJCAD 2026 がインストールされたパソコンのスタートアップメニューから「Migration Tool (マイグレーションツール)」を起動してください。

※IJCAD のスタートアップメニューに表示されない場合は、以下のパスを開き「IJMigrationTool.exe」を実行してください。

C:¥Users¥<ユーザー名>
¥AppData¥Roaming¥IntelliJapan¥MigrationTool¥x64¥ja-JP

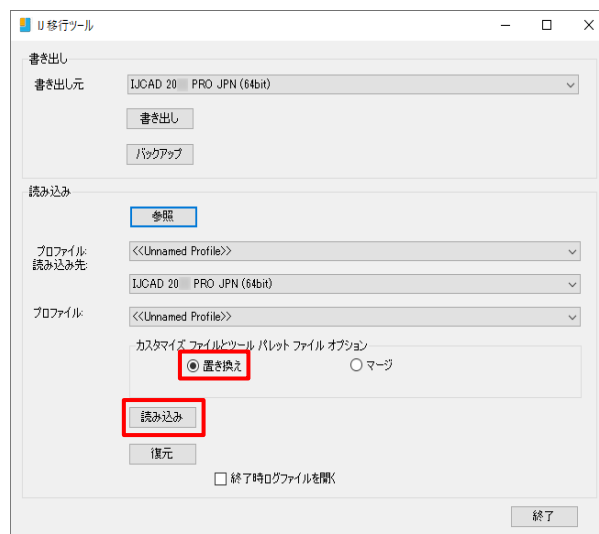
⑤ 移行するプロファイルと適用先を選択

バックアップ元の IJCAD で使用していたプロファイル名を選択し、「読み込み先」としての IJCAD を指定してください。



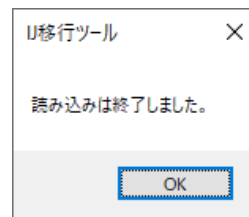
⑥ CUIX ファイル オプションの選択と読み込み

CUIX ファイル オプションで「置き換え」を指定し「読み込み」ボタンを押してください。



⑦ 読み込み完了

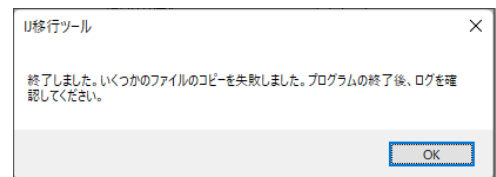
右のようなメッセージが表示されたら適用完了です。



3. Q&A

3-1. ログファイルについて

移行先を指定し ZIP ファイルの「読み込み」を行った際に右のようなダイアログが表示されることがあります。



マイグレーションツールを再起動し、再度「読み込み」を行ってください。

それでも同じメッセージが表示される場合は、マイグレーションツールを終了後、以下のパスに作成されるログファイルをご確認ください。

パス … C:¥Users¥ (ユーザー名) ¥AppData¥Local¥Temp

ファイル名 … IJMigration. (yyyymmddhhmmss) .log

() の中には「読み込み」実行時の日時が 14 桁の数字で記録されます。